

科目	東洋文化論(リハ)	担当	森川 孝典	履修学年	1年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

中国を中心にアジアの文字、文学、経済を学ぶ一方、イスラム圏史の大まかな歴史を学ぶ。漢字の考案と漢字文化圏の成立やアラビア語もしくはイスラム文化圏の成立、その後の発展、そして最近の状況などをみる。文学、商業は中国を例とする。イスラム文明は7世紀に始まり、アジアの諸地域、アフリカ、南ヨーロッパに広まった。しかし、イスラム圏は近代において、ヨーロッパの植民地的支配を受けた。そのことは今日の混沌とした政治状況の背景になっている。また現代においてヨーロッパに渡ったイスラム教徒のこゝと、ひいては、イスラム圏でのイスラム運動、テロ事件にも触れる。講義を通じて地域としてのアジアの歴史の奥深さ、多面性を把握する力が培われる。

【履修注意】

授業は毎回出席が原則である。出席を励行のこと(規定通り3分の2以上の出席を必要とし、例外を認めない)、遅刻をしないこと、私語を慎むこと、パソコンや携帯を開くことは厳禁とする。

【評価方法】

毎回の小テスト、出席点、定期テストを総合して評価する。

【試験について】

定期試験を実施する。

再試験対象者の条件:まとめ、定期、小テストの総点数が40点以上あること。

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要です。

【教科書】

購入教科書なし、プリントを用意する。

【参考書】

適宜紹介

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	漢字の誕生と伝播	漢字文化圏、独自の文字、年号
2	北アジア史	騎馬民族、食文化、モンゴル帝国
3	イラン文明史	ゾロアスター教、イラン詩人、シーア派
4	イスラムの展開	メッカ、中央アジアの征服、イスラム圏
5	十字軍	エルサレム王国、トルコ人、サラディン
6	イスラム圏遊学の旅	異国に遊ぶ、人格とキャリア形成、レコンキスタ
7	利子の禁止	イスラム経済、パートナーシップ、搾取の否定
8	中間まとめ	1～7講のまとめ
9	東洋の技術	影絵、からくり、地下水路
10	アヘンと酒の文化史	阿片、アジアの酒・ヤシ酒、ワイン
11	中国の商業	定期市、海外貿易、中国綿工業の発展
12	ヨーロッパのアジア進出	イギリス、ペルシャ湾、北アフリカ
13	ロシアとアメリカのアジア進出	石油、イラン、ロシア
14	パレスチナ問題	アラファト、素手による抵抗、エドワード・サイド
15	エジプト革命	出稼ぎ、失業、若者
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ